

第 12 回 日本レーザー歯学会歯科用レーザー教育研修会

歯周病治療におけるブルーラジカルの可能性 -

ブルーラジカル開発者が、その作用機序や効果を語る



菅野太郎

東北大学大学院歯学研究科 教授
ブルーラジカル P-01・ペリミル開発者

抄録

歯周病の原因は何であるのか？従来は“プラークの堆積”を原因とし、その除去にフォーカスされた治療が行われてきた。しかしながら、1996年に発刊された“補綴”の教科書には、プラークが堆積するにも原因があると書かれている。その原因とは“Neglect（怠慢・放置・興味がなくなること）”であり、歯周病は“口の中に興味がなくなること”から始まるものであると記されている。

私たちのチームは、ここに今後の歯周治療の未来があるのではないかと考え、研究開発と社会実装を行ってきた。“新時代の歯周治療”とは、従来の“歯に対するアプローチ”として治験を経て我が国で承認を得た新規非外科的歯周病治療器「ブルーラジカル P-01」と、Neglect からの脱却を目的に“人へのアプローチ”として患者行動変容アプリ「ペリミル」を連携させて重度歯周病患者をマネジメントするものである。

本講演では、“ラジカル殺菌”という今最もデンタルプラーク内部の殺菌が効果的に行える殺菌法を搭載した「ブルーラジカル P-01」と「ペリミル」の、概要とプロトコルを説明する。「ブルーラジカル P-01」は、レーザーを搭載しているが、“薬剤併用超音波歯周用スケアラ”として厚生労働省から医療機器として承認されたものである。なぜそのようなカテゴリで承認を取得したかという点も併せて、詳しくお伝えしたい。また、臨床ケースとして、歯周病のほか、インプラント周囲病変に対して応用した症例も紹介したい。